

日本大学薬学部

入学前課題学習（映像授業）

実施概要

この講座は皆さんの入学準備を応援するために、本学部で内容を検討・選定し、ご案内して
います。



日本大学薬学部
SCHOOL OF PHARMACY, NIHON UNIVERSITY



1 入学前準備学習（映像授業）の骨格

- ①大学での学修においては、高校までの化学・生物・物理または数学などの内容については理解されている前提で、例えば高校化学と高校生物を発展・融合させた『生化学』などを学ぶことになります。
- ②したがって、高校までの履修状況（未履修や基礎科目のみの履修）や得意・不得意などによって、基礎が固まっていないと、講義について行くことすら困難になります。
- ③また、学修・研究した内容をまとめ、レポートや論文などの文章を書く機会も大幅に増えます。
- ④こうした不安を合格から入学までの期間に解消するために、様々な教材の中から適切なものを選定し、皆さんに提供しています。

2 受講の枠組み

- ①受講期間は令和8年12月下旬から令和9年3月（講座数による）。
学習はオンライン教材にて自宅で行います。したがって高校生活と並行して学習できます。
- ②テキストと映像授業を見て学習し、問題演習（確認テスト）を行います。
確認テストはオンラインで実施し、採点・返却された答案と映像授業で復習を行います。
- ③映像授業はオンデマンド配信で提供されますので、PC・スマートフォン・タブレットなど幅広いデバイスで学習ができます。

3 講座内容

【基本講座】

講座名：薬学を学ぶための理科（薬学化学+薬学生物）

高校化学・高校生物の内容について、基礎・基本となる単元を集中的に学習するとともに薬学とのつながりを理解するための講座です。

薬学を学ぶ上で、さまざまな物質の構造・性質および物質相互の反応を研究する「化学」と生命の根幹に大きくかかわる「生物学」の知見や技術を修得しておくことは必要不可欠です。

【推奨】 ①化学／生物 カリキュラム（24 回版） 黄色の網掛け部分について課題提出があります。

薬学化学	1.物質の構成、原子構造、化学結合	2.分子間力と結晶	3.原子量、モル、化学反応式
	4.気体と溶液	5.熱化学、化学平衡	6.酸・塩基
	7.酸化還元と電池	8.無機化学	9.有機化学①（脂肪族化合物）
	10.有機化学②（芳香族化合物）	11.有機化学③（医薬品・油脂）	12.生体を構成する分子
薬学生物	1.細胞の構造と機能	2.細胞分裂と分化	3.組織と器官
	4.体液と体内循環系	5.刺激に対する応答	6.情報の統合～神経系
	7.恒常性の維持～自律神経系と内分泌系	8.生体防御の仕組み	9.生体を構成する分子
	10.代謝とエネルギー	11.遺伝子の働き	12.バイオテクノロジー

②化学重視 カリキュラム（16 回版） 黄色の網掛け部分について課題提出があります。

薬学化学	1.物質の構成、原子構造、化学結合	2.分子間力と結晶	3.原子量、モル、化学反応式
	4.気体と溶液	5.熱化学、化学平衡	6.酸・塩基
	7.酸化還元と電池	8.無機化学	9.有機化学①（脂肪族化合物）
	10.有機化学②（芳香族化合物）	11.有機化学③（医薬品・油脂）	12.生体を構成する分子
薬学生物	1.細胞の構造と機能	2.細胞分裂と分化	3.組織と器官
	4.体液と体内循環系	5.刺激に対する応答	6.情報の統合～神経系
	7.恒常性の維持～自律神経系と内分泌系	8.生体防御の仕組み	9.生体を構成する分子
	10.代謝とエネルギー	11.遺伝子の働き	12.バイオテクノロジー

③生物重視 カリキュラム（16 回版） 黄色の網掛け部分について課題提出があります。

薬学化学	1.物質の構成、原子構造、化学結合	2.分子間力と結晶	3.原子量、モル、化学反応式
	4.気体と溶液	5.熱化学、化学平衡	6.酸・塩基
	7.酸化還元と電池	8.無機化学	9.有機化学①（脂肪族化合物）
	10.有機化学②（芳香族化合物）	11.有機化学③（医薬品・油脂）	12.生体を構成する分子
薬学生物	1.細胞の構造と機能	2.細胞分裂と分化	3.組織と器官
	4.体液と体内循環系	5.刺激に対する応答	6.情報の統合～神経系
	7.恒常性の維持～自律神経系と内分泌系	8.生体防御の仕組み	9.生体を構成する分子
	10.代謝とエネルギー	11.遺伝子の働き	12.バイオテクノロジー

***上記の3パターンを同時に申し込むことはできません。**

*映像授業 24 回の内、下記の網掛け部分については課題提出・採点も行います。

*網掛けの無い部分については、課題の提出・採点は行いません。

【オプション講座①】※オプション講座のみの申込みはできません

講座名：薬学を学ぶための数学・物理 1（数学ⅡB+数学Ⅲ+薬学物理）

薬物が体内でどのように作用するか、それが濃度や時間によってどのように変化するかといった検討を行う上で、関数の微分と積分の概念が必要です。また、錠剤が体内で適切な速度で溶けるかどうかを考えるためには、体内の温度との関連などを踏まえて、物理（熱力学）の考え方を活用することが必要となります。同様に、様々な化学現象を理解するためには物理を理解しておく必要があります。こうした、薬学部での学習に必要な数学・物理を復習するための講座です。

カリキュラム 黄色の網掛け部分について課題提出があります。

数学Ⅱ・B	1.式と証明	2.複素数と方程式	3.図形と方程式
	4.三角関数	5.指数関数と対数関数	6.微分法と積分法 1
	7.微分法と積分法 2	8.平面上のベクトル	9.空間のベクトル
	10.数列 1	11.数列 2	12.確率分布と統計的な推測
数学Ⅲ	1.式と曲線 1	2.式と曲線 2	3.複素数平面
	4.関数	5.極限 1	6.極限 2
	7.微分法 1	8.微分法 2	9.微分法の応用
	10.積分法とその応用 1	11.積分法とその応用 2	12.積分法とその応用 3
薬学物理	1.運動の表し方	2.力と運動方程式	3.運動エネルギーと運動量
	4.さまざまな運動①	5.さまざまな運動②	6.熱と温度
	7.波の性質	8.音波の性質	9.光波の性質
	10.電場	11.磁場	12.原子と原子核

* 映像授業 36 回の内、特に重要な 16 回（下記の網掛け部分）については課題提出・採点も行います。

* 網掛けの無い部分については、課題の提出・採点は行いません。

【オプション講座②】※オプション講座のみの申込みはできません

講座名：薬学を学ぶための小論文（医歯薬看護系小論文+医歯薬看護系小論文特講）

入学後に様々な研究や実験を行うこととなります。また、その後には必ず論文・レポートなどでその内容をまとめることが求められます。論文・レポートにおいて重要なことは、他人が読んで「テーマ・結論・根拠がきちんと解る」ことです。また、テーマの設定や問題意識をどこにおくのかといった考える力も必要となります。

カリキュラム 黄色の網掛け部分について課題提出があります。

医歯薬看護系小論文	1.小論文の考え方と書き方 論点、意見、理由、そして反論	2.「医療技術の進歩」について①原稿用紙の使い方 【実作 1】 iPS 細胞	3.「医療技術の進歩」について②事例と一般化
	4.「医療従事者と患者の関係」について①【実作 2】 インフォームド・コンセントについて	5.「医療従事者と患者の関係」について② 長所と短所のバランスを考える	6.「医療と幸福」について①想像力を鍛える方法【実作 3】 延命治療
	7.「医療と幸福」について②患者の声に耳を傾けること	8.「医療技術の進歩と高齢社会」について 【実作 4】 医療技術の進歩と高齢社会	9.「終末期医療」について物事を順序だてて説明する方法
	10.「笑いの効用」について文章を補って分かりやすい説明にする方法		
医歯薬看護系小論文特講	1.（医学部・歯学部向け）科学的な見方・考え方とは何か	2.（薬学部向け）顧みられない熱帯病	3.（医療系学部向け）看護師の使命感

* 映像授業 13 回の内、特に重要な 10 回（下記の網掛け部分）については課題提出・採点も行います。

* 網掛けの無い部分については、課題の提出・採点は行いません。

4 申込方法

1. 実施方法 教材一式（映像授業の設定情報・テキスト・確認テストなど）を自宅宛てに送付します。

映像授業とテキストにより学習し、定められた期限までに課題を提出します。

* 映像授業は WEB 配信（配信期間 令和 10 年 3 月末まで）で行われます。

WEB 利用時の推奨環境は下記 QR コードより確認いただけます。

必ず事前に確認してください。



P C 利用時



スマートフォンなど
利用時

2. 実施期間 令和 8 年 12 月下旬～令和 9 年 3 月（教材発送予定：令和 8 年 12 月 25 日（金））

3. 受講料（消費税 10% 込）

基本講座：薬学を学ぶための理科「化学／生物」（24 回版） **36,960 円**

基本講座：薬学を学ぶための理科「化学重視」・「生物重視」（16 回版） **24,640 円**

オプション講座①：薬学を学ぶための数学・物理 1 **24,640 円**

オプション講座②：薬学を学ぶための小論文 **18,480 円**

※「化学重視」「生物重視」どちらも受講料は同じです。

※オプション講座のみの申込みはできません。

※お支払い手続きの際にシステム利用料 330 円が加算されます。

- （1）申し込みをされたものと異なる教材が届いた場合や落丁・乱丁または破損などの不具合がある場合は、下記問合せ先までお申し出ください。無償で交換いたします。
- （2）受講開始後の返品、キャンセルは原則、お受けできません。また、申し込み間違いによる返品もお受けできません。お申し込みの前に内容をよくご確認ください。
- ご不明な点がございましたら、5. 問合せ先までご連絡ください。
- （3）課題提出には期限が設けられています。期限より早くできた場合は、早めに提出しても構いません。万一、提出期限を過ぎた場合でも必ず提出してください（ただし、令和 9 年 5 月 10 日以降は受付できません）。

4. 申込期間と手順

申込期間：令和8年12月1日（火）～令和8年12月14日（月）

* 申込期間に公開される QR コードをスマートフォンなどで読み込んでお申し込みください。

上記申込期間になりましたら、日本大学薬学部HP（右下QRコード）より申込用データを掲載しますので、そちらよりスマートフォンなどで読み込んでお申し込みください。

【入学前課題学習について】－【課題学習申込用 QR コード】



5. 問合せ先 右下の QR コードからチャットボットを使用してください。



6. 受講料納入方法

専用 WEB サイトからのお申し込み手続きの際に、クレジットカード・コンビニ支払い・ペイジーのいずれかにてお支払いの手続きを行ってください。

* お支払い手続きの際に決済代行サービス（GMO-PG 社）を利用します。

* ご入金が完了した段階でお申し込み成立となります。ご入金が遅れた場合に教材の発送が遅れたりお申し込みが無効になることがあります。

7. 運営の委託について

この入学前準備学習について、本学部にて様々な教材の内容を確認した上で皆さんの入学準備を充実したものとするために内容を決定し、**その運営の一部を株式会社ナガセに委託して実施いたします。**

株式会社ナガセは皆さんのお申し込み内容について、個人情報の保護に関する法律に基づいて、この入学前準備学習の運営に限定して使用します。なお、**受講者の受講状況や取り組みの状況は株式会社ナガセより、本学部に開示・報告がなされます。**

【運営委託先】

〒180-0003

東京都武蔵野市吉祥寺南町 1－28－2 東進ハイスクール2号館3F

株式会社ナガセ内 日本大学薬学部 入学前教育係